

ゆたかな河和田 コミュニティプラン

河和田地区のゆたかな潤いのある
住みよいまちづくりを目指して！



ゆたかな河和田ふれあいまつり

ゆたかな河和田をつくる会

(事務所：桜川市民センター内 TEL 251-0359)

1 共に進めるゆたかな組織

町内会や自治会への加入を促進することは勿論のこと、現況に即した地域のコミュニティ組織をつくるため、人材の発掘やリーダーの育成を進め情報を共有することにより地域住民の理解を得ながら将来へ継承できる組織づくりを進めます。

(1) 自治会・町内会

- ①活動の活性化
- ②情報・広報の方法の検討

(2) 組織構成の再検討

- ①総務関係の部会の新設
- ②将来のリーダーの育成・青年部の新設

2 安全・安心なまちづくり

地域住民の生命や財産を守るため、地震や火災などの災害を想定して、関係機関の協力を得て被害拡大の防止や防災・防犯に対する意識啓発を積極的に進めます。町内会や自治会の活動を活性化することにより近所のふれあいや絆も一層深まり安全で安心のまちづくりを進めていくことができます。

(1) 防災

- ①意識の高揚
- ②避難連絡網の確認
- ③地区防災マップの作成
- ④福祉避難所の設定
- ⑤第一次避難所の設定検討

(2) 防犯

- ①意識の高揚
- ②子どもの安全守る家の推進
- ③スクールガードの充実
- ④防犯灯のLED化



防災研修会

3 環境美化の進んだまちづくり

家庭でのゴミ減量運動やリサイクル運動を推進すると共に、クリーン作戦や花いっぱいのもちづくり事業などを推進しながら潤いのある美しいまちづくりを進めます。



報徳子ども会花壇

(1) 環境

- ①地区内のクリーン作戦の実施
- ②通学路や国道50号バイパスの清掃
- ③ゴミ減量やリサイクル運動の推進
- ④集団資源物回収の推進

(2) 美化

- ①花いっぱいのもちづくり事業の推進
- ②さくらの会による桜の植樹事業
- ③花壇づくりの奨励と花壇コンクールの実施
- ④菊づくり会による菊づくり事業の推進

4 歴史・文化を継承するまちづくり

当地区は河和田城（1336年築城）跡地を中心に、河和田八景や道場池・塩街道跡など多くの史跡があり、これらの歴史遺産を保存し継承していきます。

◎地域の歴史や文化の保存

- ①河和田の歴史
- ②河和田八景や桜川遺蹟，河和田音頭の保存伝承
- ③道場池や塩街道など
- ④地域文化の保護と育成及び広報

5 楽しく生きがいのある福祉のまちづくり

少子高齢化社会が進んでいる中、高齢者や障害者との共生を大切にして安心して子育てができる地域づくりや生涯学習を通して生きがいの持てる地域づくりを推進していきます。

(1) 高齢者や障害者との共生

- ①子どもたちを交えた敬老会の開催
- ②介護施設や障害者施設との連携

(3) 生涯学習の推進

- ①水戸郷土かるた大会の開催
- ②郷土史講座の開催

(2) 子育て支援の推進

- ①支援内容の充実
- ②育児の支援
- ③河和田郷土かるたの作成
- ④今後の活動目標の設定検討

6 ふれあいのある健康なまちづくり

地域の運動会やふれあいまつりなど各種イベントを通して多くの地域住民がふれあいを深めたり、スポーツなどを楽しんで心身ともに健康なまちづくりを進めます。

(1) スポーツ

- ①地区市民運動会の開催
- ②お父さんソフト・ママさんバレー大会の開催
- ③三世代スポーツ大会の開催
- ④歩く会の開催
- ⑤参加者増を図る企画内容の検討



市民運動会



七夕まつり

(2) まつり

- ①ゆたかな河和田ふれあいまつり開催
- ②ゆたかな河和田七夕まつり開催
- ③ふれあいのある健康なまちづくりの集い開催
- ④参加層を広げるための検討

河和田地区のほぼ中心地にある河和田小学校は668年前（平成26年現在）の1336年に築かれた河和田城の城跡に建てられ、明治6年に開校しました。

河和田城は約400年前に佐竹氏に攻められ廃虚となりましたが、現在も鬱蒼とした森は生活優先の現代から解放してくれております。近くには歎異抄の作者とされている唯円の伝道地や塩街道、報佛寺・天徳寺の名刹があり、また、河和田八景、河和田十勝などもあり、町民の散策の道として親しまれております。なお、1953年ごろ作られた河和田音頭は地区のイベント時には必ず踊り唄われております。



城跡・河和田小学校



桜川遺蹟（桜川団地橋脇）



膳棚の秋



唯円遺蹟 道場池



赤塚駅南口公園（河和田1丁目）



河和田音頭